

私は2017年7月から12月までNPO ハロハロマニラで学生インターンとして活動させて頂きました。今回はインターンでの取り組みや感じたことなどをまとめたいと思います。

まずは、生計支援活動です。この活動からは魅力的に働くことの美しさを感じました。エラップで活動に参加し、他のメンバーへの雑貨づくりの指導も行っているあるお母さんが、「お金ではなく、他の人がうまく作れるようになったら嬉しい。みんなで一緒に働けることが幸せ」と言っていました。それまで、支援というと金銭面の印象が強かっただけに、お金以上に大切なものに改めて気づかせてもらいました。そして、自分もそのメンバーの一員として活動することができていたことに喜びを感じました。

教育活動では、パヤタスの子供たちに算数や英語を教えました。始めは参加する子供の数もまばらでした。しかし、他のメンバーと教え方や内容を工夫した結果子供たちが進んで学習に参加してくれるようになりました。タガログ語がわからない自分にとって言葉の壁は大きく、教えることも苦勞しましたが、子供たちの学んでいるときの真剣な表情や答えがわかった時の笑顔は忘れることができません。もう一度、今度はタガログ語を少し覚えて子供たちに会いに行き、驚かせたいと思っています。今の自分のちょっとした夢です。

次に啓発活動です。私は学生に貧困地域を訪れて、実際に目で見て様々なことを感じてほしいという考えから、パヤタスでイベントを企画しました。自分の活動がどれだけ他の人に影響を与えられたかはわかりませんが、行動を起こすひとつのきっかけとなったのではないかと感じています。また、この活動を通じて、今後も何か多くの人に影響を与えることができるような人間になりたいと思いました。

また、私は交換留学をしながらのインターンでしたので、そのことにも少し触れたいと思います。私はフィリピン大学で経済やコミュニティー開発などの授業を履修していました。そこではフィリピン経済のことやどのような姿勢で貧困地域の支援に取り組むべきかなどを学びました。この学びをハロハロで実際に行動に移してみるなど良い循環ができました。また、理解も深まったと思っています。

全体を通して、私はフィリピンには日本人が忘れてしまっているかもしれない大切なものがあるのではないかと感じました。それは人との繋がりです。大切な人を愛する気持ち、誰に対しても優しいホスピタリティーの高さ、すぐに仲良くなれるフレンドリーさ、フィリピンの方々には家族や友人、周りの人を本当に大切にしています。こうした人との繋がりや温かさを感じることができるフィリピンに私は惹かれているのだと思います。また、今後の人生も人との繋がりを大切にしていきたい、そのように感じる事ができたインターンでした。

最後に、5 か月間という短い間でしたが、マニラ学生インターンのメンバーやスタッフ、そして、代表の悠さんと出会え、一緒に活動することができたことに感謝しています。ありがとうございました。この経験は間違いなく自分が今後生きていく上での財産になります。そして、多くの人たちが幸せになれるように今後も取り組んでいきたいと思っています。



*パヤタスのお母さんたちと



*ハロハロサロン